

2022年10月1日
76号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029 (354) 5111
発行人 渡辺明宏
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>
※バックナンバーは当院ホームページに掲載しております。

ごあいさつ — 地域を護る病院として —



院長 吉井 慎一

新型コロナウイルス感染症は、5月の大型連休明けに陽性者が増加する懸念があったものの、幸い感染者や入院患者の急激な増加はありませんでした。しかし、7月に入りいわゆる第7波では、感染力のより強力な変異株に置き換わったこと、高齢者のワクチン接種効果が薄れたこと、行動制限がほぼ無くなり、若年者の感染者が増加したことで、茨城県全域で救急医療を中心に医療逼迫の状況となりました。特に8月のピークを迎える頃は、医療従事者の感染者・濃厚接触者が増加し、看護師の欠勤により、当院でも一部の病棟の入院受け入れについて、制限を余儀なくされました。結果、地域の皆様にご迷惑おかけしたことをお詫びいたします。

9月以降、全国的に感染者数は減少傾向となっています。茨城県では高齢者を中心に入院患者の急激な減少はありませんが、新規入院は減少することが予測されます。報道等でありますように、茨城県では、9月2日より新型コロナウイルス感染者の「全数把握」の簡素化が始まりました。秋の国会では、新興感染症に関して、公立・公的病院への県の権限強化、新型コロナウイルス感染症の2類感染症から5類感染症への変更等が議論さ

れるようです。当院としては、国や県の方針に関わらず、「地域を護る病院」の理念のもと、通常診療と感染症診療を両立する準備が常に必要と考えています。

2025年度に向けた地域医療構想では、地域における自身の病院がどのような役割をもっており、何を期待されているかを認識し、どのような方向に進むべきかを検討する必要があります。多くの二次医療圏で前進の無いままコロナ禍になり、この議論は停滞しています。当院は引き続き急性期を主体とした病院として、地域医療に貢献する責務があると考えています。地域の住民が安心して医療・介護を受けられる為に、他の医療機関・介護施設と共に地域包括ケアシステムの構築をめざしていきます。

当院はリニューアルしてから12年が経過し、医師数も約2倍になり、外来患者数も1日平均600人以上となっています。ここ数年、外来の混雑で皆様に大変ご迷惑をおかけしています。また、急性期250床の病院としては異例の、年間救急車3,500台を受け入れています。内服で安定している患者さんの地域の医療機関への逆紹介、急性期医療を終えた入院患者さんの早期退院、後方病院への転院のご協力をよろしく願います。

最後になりますが、「地域を護る病院」として、今後も職員一同がんばっていく所存です。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしく願います。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

10月		11月		12月																								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土								
						①				1	2	3	4	⑤					1	2	③	①	②	③	4	5	6	⑦
②	3	4	5	6	7	⑧	⑥	7	8	9	10	11	⑫	④	5	6	7	8	9	⑩	⑧	⑨	10	11	12	13	⑭	
⑨	⑩	11	12	13	14	⑮	⑬	14	15	16	17	18	⑰	⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑮	16	17	18	19	20	⑰	
⑰	18	19	20	21	⑳		⑳	21	22	23	24	25	㉑	⑱	20	21	22	23	㉒	㉒	23	24	25	26	27	㉓		
㉓	㉔	25	26	27	28	㉕	㉔	28	29	30				㉕	26	27	28	29	30	㉖	㉕	30	31					

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日



歯科口腔外科



歯科口腔外科医師 今井 英樹

歯科口腔外科では、かかりつけ歯科医院での先生では対応困難な顎骨・口腔内の病気の外科的な治療を相談に応じて行っています。代表的なものとしては埋伏している親知らずの抜歯や、患者さんの全身状態など様々な要因で抜くのが難しい歯の抜歯があります。他に口腔腫瘍、歯性炎症、嚢胞、歯牙・顎骨・軟組織の口腔外傷、口腔粘膜疾患、顎関節疾患などを扱っています。また、歯科インプラント治療にも一部対応しています。虫歯の治療や義歯の作製などの一般的な歯科治療は原則行っておりません。

歯科に関連する病気には口腔だけではなく、全身に影響を及ぼすものもあります。口腔の病気の早期の改善が、健康な生活を送るうえで必要と考えています。

近年は複数の診療科との連携が必要な全身疾患（循環器疾患・血液疾患・膠原病など）を有する患者さんが大変増えています。入院下での管理のもとで治療を行ったり、他の診療科と連携しながら治療を行ったりして、安心して診療を受けていただけるようにしています。

また当院は地域がん診療連携拠点病院であり、院内の各科から紹介を受けてがん治療、緩和ケアの患者さんの周術期口腔機能管理を行い、円滑な治療が行われるようにサポートしています。当科は日本口腔外科学会認定医療機関で、1名の口腔外科専門医を含む3名が常駐しており、上記の事について日々対応していますが、当科で対応困難な更に高度な治療を必要とする症例に関しましては、東京医科歯科大学病院口腔外科や筑波大学附属病院歯科・口腔外科、水戸医療センター耳鼻咽喉科などの協力を得て速やかに紹介できるように努めています。

2021年度の当科の手術件数は277件で、ほとんどが全身麻酔下での手術となっています。今後も感染対策を含め安全への配慮を徹底し、地域の皆様に安心して受診していただけるよう努めていく次第です。

しかし、2020年より全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響を当科も多分に受けており、診療制限や手術延期などの事象が生じています。患者さんにはご迷惑をおかけいたしますが、事情をご理解のうえで受診いただくようお願い申し上げます。



歯科口腔外科スタッフ

～地域のリハビリテーションの中核を担います～

リハビリテーション科は、専門医の海老原医師（科長）のもと、理学療法士29名、作業療法士23名、言語聴覚士10名の体制で他の診療科と連携しながらチーム医療に取り組んでいます。また、当院では、『地域を護る病院』をコンセプトにしてい



リハビリテーション科スタッフ

ます。入院後または手術後早期からリハビリを実施する急性期部門、脳血管疾患・骨折後に機能改善、在宅復帰をめざしてリハビリを実施する回復期部門、ご自宅に訪問し、日常生活動作練習や住環境整備、介護指導等のリハビリを実施する訪問部門に分かれ、ひたちなか市周辺地域のリハビリテーションの中核として、それぞれの部門で専門的なりハビリを提供しています。

地域の先生紹介

曾野内科医院

当院は、1981年（昭和56年）に私の父からスタートしました。地域医療に貢献してきた父の志を受け継ぎ、2016年（平成28年）に新たに開院しました。

大学病院、総合病院では消化器内科を専門に勤務し、内視鏡検査等で病気の早期発見や治療を行ってきました。私がこれまでに培ってきた経験、知識や技術を生かして、分かりやすく丁寧な説明をこころがけ、一人ひとりの症状に合った最適な医療を提案できる医院をめざし、スタッフとともに力を尽くしてまいります。



今後もひたちなか総合病院と連携し、地域医療に貢献できるよう努めていきますので、よろしくお願いいたします。



院長 曾野 浩治

【職歴】

東邦大学医学部卒
東邦大学医療センター佐倉病院内科
鹿島労災病院内科
東京歯科大学市川総合病院内科
東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科
ひたちなか総合病院消化器内科

【資格・所属学会】

医学博士
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

医療連携に関するお問い合わせは地域医療連携推進センターへ

8:15～16:30（月曜日～金曜日）

TEL 029-354-5202（直通）

FAX 029-354-5220（直通）

インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月3日（月）からインフルエンザ予防接種の予約と接種を開始いたします。

当院では、以下のように予防接種を行うことになりましたのでご案内いたします。

※「インフルエンザ予防接種予診票」は、事前に必要事項（当日の体温等）を記入のうえ、ご持参ください。
※詳細につきましては、当院ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

1. 成人の方

(1) 定期通院中で外来受診予定のある方

10月3日（月）より外来受診時に予防接種が可能です。予防接種をご希望の方は、当日診察前にブロック受付に申し出てください。

(2) 定期通院中で外来受診予定の無い方

予防接種外来（完全予約制）を開院いたします。

- ・予約方法：電話予約のみ
- ・電話番号：029-354-5111（代）
- ・受付日時：平日 14:00～16:00

※上記時間帯以外は予約をお受け出来ませんので予めご了承ください（時間外、土・日・祝日は予約不可）。

※予約状況により他院での予防接種をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

(3) 接種料金

（13歳以上）4,580円／回

2. 小児の方

予防接種外来（完全予約制）を開院いたします。

- ・予約方法：電話予約のみ
- ・電話番号 029-354-5111（代）
- ・受付日時 月・火・金曜日 15:00～16:00

※上記時間帯以外は予約をお受け出来ませんので予めご了承ください（時間外、土・日・祝日は予約不可）。

(1) 接種料金

（13歳未満）4,080円／回

※市町村より配付された「インフルエンザ予防接種予診票」をご提出された方のみ、助成適用額での予防接種が可能です（該当市町村：ひたちなか市、東海村、那珂市、常陸大宮市、大洗町）。

(2) その他

予防接種時に、「インフルエンザ予防接種予診票」及び「母子手帳」を必ずご持参ください。

体調管理が難しい時期を乗り越えよう

10月に入り、体には夏の疲れが溜まっているうえ、昼夜の気温変化も激しくなります。季節の変わり目には、しっかりと体調管理をしないと「冷え」による思いがけない体調不良につながります。

例えば、エアコンを低い温度で長時間使用していると、自律神経系の交感神経が働き、体温を体の中から逃がさないように血管が収縮します。このため血流が悪化し、冷え症を起こすのです。

また、自律神経の乱れは、他にも基礎代謝や新陳代謝を低下させてしまいます。「冷え」から身を守るためには、体を温め、血行を改善することが大切です。

＜生活のポイント＞

- ・首、手、足から冷えるので、その部分の保温をしっかりとしましょう。
- ・気温に合わせて寝具・パジャマを使用しましょう。
- ・エアコンの設定温度は、適切な温度を意識しましょう（目安：外気との温度差は5度以内）。
- ・ウォーキングやストレッチなど軽い運動を心がけましょう。
- ・シャワーだけで済ませず、週に1回以上は38～40度位のぬるめの湯で入浴し、体の芯から温めましょう。
- ・十分な睡眠をとりましょう。

＜食事のポイント＞

- ・栄養バランスのとれた食事をとりましょう。
- ・体を内側から温める食材をとりましょう。
体を温める食材としては、ニンジン、カボチャ、ダイ

総合健診センター 遠藤 尚子

コン、カブなどの根菜類、ヤマイモ、サトイモ、サツマイモなどの芋類、シソ、ショウガ、ニンニク、ネギ、タマネギなどの薬味野菜があります。

- ・疲労回復力をアップさせるビタミンやミネラル、抗酸化物質、酵素、良質なたんぱく質が豊富な食材をとりましょう。これらは牛肉や豚肉に多く含まれています。

◆◆◆ 医師異動の紹介 ◆◆◆

診療科	氏名	異動日
内科	桶屋 こむぎ	退職（2022. 9. 30）
	小島 丈心	退職（2022. 9. 30）
	石川 敬資	採用（2022. 10. 1）
循環器内科	川面 貴彦	採用（2022. 10. 1）
消化器内科	阿部 涼	退職（2022. 9. 30）
	目時 佳恵	退職（2022. 9. 30）
	安部 計雄	採用（2022. 10. 1）
リウマチ科	奥田 紗帆	採用（2022. 10. 1）
消化器外科	今里 美智子	退職（2022. 9. 30）
耳鼻咽喉科	木内 千紘	退職（2022. 9. 30）
	佐藤 健徳	採用（2022. 10. 1）
臨床研修医	児玉 達弘	退職（2022. 9. 30）
	會澤 紘樹	退職（2022. 9. 30）
	平岡 壮磨	採用（2022. 9. 1）
	山崎 勇輝	採用（2022. 10. 1）
	渡邊 真広	採用（2022. 10. 1）
	星 玲翔	採用（2022. 10. 1）